

対談企画
第5回

すみきしゃい 角記者が行く！

ケアヴィラ宝塚広報委員会では、働いているスタッフと広報委員会のメンバーが対談し、仕事に対する思いや心構え、またプライベートなどの素顔に迫る対談企画を行なっています。

対談企画第5回目は、リハビリチームの代表として、福田薫（ふくだかおる）療法部主任にお話を伺いました。いつも元気ハツラツ、明るい笑顔が印象的な福田主任の素顔に迫ります！



福田 薫（ふくだ かおる）

平成 21 年 3 月 四條畷学園大学リハビリテーション学科卒業
平成 21 年 4 月 理学療法士として、宝塚リハビリテーション病院入職
平成 24 年 4 月 介護老人保健施設ケアヴィラ宝塚へ異動
平成 28 年 4 月 療法部副主任
令和 3 年 4 月 療法部主任

理学療法士を目指したきっかけ

角記者（以下、角）：福田主任が理学療法士を目指したきっかけをまずお聞かせいただけますか？

福田主任：もともと医療関係の仕事に憧れていて、病院で働いて来院される方の支援や手助けをしたいと思っていた時に、通っていた高校で職業説明会があったんです。そこで理学療法士の専門学校に通っている学生さんから理学療法士の仕事についてお話を聞き、「あ、私に合ってるのはこの仕事だ」って直感しました。それが高校2年生の時だったと思います。それから他の仕事に就こうとは一切思わずに、理学療法士の大学に通うために勉強をして、受験して今に至ります。そんなたいそうなかっかしいきっかけがあるわけではないんです。

角：高校2年生の時にこういう仕事に就きたいと思って実現されたのは大したものですよ。天職ですね。僕も高校3年の息子が柔道整復師を目指すので将来の夢を最近聞いたところで、今のお話と重なりました。

リハビリ病院から老健へ

角：卒業されてすぐ尚和会に入職されたんですか？

福田主任：はい。最初宝塚リハビリテーション病院（以下、リハビリ病院）で3年間、そのあとこちらにきてトータル13年目になります。ただ、途中産休で1年間抜けています。1年休んでいて復帰した時のブランクはすごく感じましたね。

角：あ～、そうですか。

福田主任：ゲスト様のことを考えるだけじゃなくて今まで積み上げてきたスタッフとの関係が、人事異動で変わっている分、また一から始めないといけなくて…信頼関係が生まれてないとそこでのゲスト様の評価・連携がとれないので、元通り働けるまで復帰してから1年間はかかりましたね。

角：リハビリスタッフの絆や一体感はそういった努力の賜だったんですね。

リハビリ病院と老健の違い

角：リハビリ病院とケアヴィラ宝塚を経験されているわけですが、リハビリ病院と介護老人保健施設（以下、老健）との違いはどのようなところですか？

福田主任：圧倒的にリハビリ時間がまず違いますね。整形外科運動器疾患か、脳の疾患かによってリハビリの時間が違うんですが、リハビリ病院では2時間以上リハビリをする方もいます。老健はまず、毎日ではないですし、1回20分なので、それが大きな業務の違いだと思います。老健ではリハビリの時間は短いんですけど、長く入所されている方もいらっしゃるし、お付き合いさせて頂いている中でそこで生まれる信頼関係っていうのは結構強いものが、深いものがあると感じますね。



Photo:クリスマス会の様子

上：ケアスタッフのハンドベル演奏にキーボードの伴奏で参加♪

下：ゲスト様と一緒にクリスマスケーキ作り

仕事上で気をつけていること

角：ゲスト様と接する際に色々気遣いされると思いますが、特に気をつけていることはありますか？

福田主任：やっぱり一番は表情かなと思います。基本は笑顔。マスクとゴーグルをしてるとほとんど自分の表情がゲスト様に伝わらないので、目元で表情、感情をしっかりと伝えるようにしてます。それが一番気をつけていることですね。

角：なるほどね。

福田主任：ただずっと笑っていればいいって訳ではなくてやっぱり、見て欲しい時、訴えている時は、こっちが笑っていると「ちゃんと聞いているのかな」と感じる人もいると思うので伝え方は常に意識しています。

角：表現の仕方っていうのはやっぱり難しいですよ。ケアスタッフも配慮しないといけない部分だと思います。

福田主任：あとは、コミュニケーションの内容も気をつけています。その人の認知機能と自分が話している会話の内容が合っているのか、例えば日付や場所の感覚が薄れている人に時事問題とか最近起きたこととお話ししてもたぶんコミュニケーションは上手くいかない。そういう方に対しては日付の感覚、時間の感覚、場所の感覚がその人に定着するように、覚えていけるように、日々のコミュニケーションの中で日付、季節、時間とかの内容を多く盛り込んでお話をします。逆に認知機能がともしっかりしている人に対して季節の話ばかりしてても会話に飽きてしまったり、中にはばかにされると思われる方もいらっしゃるの…

角：その質問さっき聞いたよって口ではおっしゃらなくても、表情に出ていることもありますね。

福田主任：その人に合わせた認知機能やその人がどんなことに興味を示されるのか、お話をした時の返答、反応が微妙だったな、この話は反応がいいな等、毎日のコミュニケーションの中で蓄積して行って、この人にはこんな対応をしたら一番いいかなっていうのは毎日意識しているところです。

角：ゲスト様お一人おひとりに寄り添ったコミュニケーションのとり方は僕たちケアスタッフも見ているのでとても参考になります。

モットーは？

角：モットーとしていることはありますか？

福田主任：大変だと思ったことでもとりあえずやってみるっていうのはいつも心がけていることですね。大変だからやりたくないではなく、とりあえずやってみて、その中で解決方法が生まれたり、自分なりに身になることもあると思うので。15年前から変わらない自分の核となる部分です。

あと、入所されているゲスト様にとって家族様が一番大きな存在であると思うんですけど、入所されている間、家族様を超えることは絶対できないけど、家族様の次の存在になりたいなあっていう思いがあります。特に今コロナ禍で、家族に会いたくても会えない、ゲスト様が抱える不安などしっかり受け取って家族様の次の存在になるって思っているんです。

目標としている人

角：目標としている人はいますか？

福田主任：結構いっぱいいます。例えば、ケアヴィラ宝塚で言えば事務長、角さんもそうですね。

角：いやいやいや。

福田主任：事務長であれば、上の立場の方なのについても私や他のスタッフの意見を真摯に聞いて対応して下さるっていうのはすごく有難いですし、自分もそんな風になりたいなあって思います。角さんは、とても話しやすい。皆さんそう思っていると思います。それって角さんが色々気を使っていることの証と思うので、皆さんのそういう一点一点いいところを目標にしたいなあって思っています。

角：なんか褒められたら…照れますね(笑)

ゲスト様に毎日明るく過ごしていただきたいなあと思っているんで、しょうもないジョークを言いながら(笑)頑張ってます。フロア内で暗い顔をしていたら、やっぱり周りも暗くなってしまいうのでね。

副田主任：たまに角さんのジョーク理解するのにとても時間がかかるんです(笑)ジョークのレベルが高いから(笑)

Photo：リハビリの様子

何気ない対話でコミュニケーションをとりながら楽しくリハビリに励んでもらいます



食生活のこだわり

角：ここから、ちょっとプライベートなお話をお聞きしていきたいと思えます。女性メンバーからのリクエストですが、いつも若々しく生き生きとされています、その美しさを保つ秘訣は何かありますか？

福田主任：笑笑笑。そんな、私は美しさを語るようなキャラクターじゃないんですけど……。

ほんとに何も無い。でも強いて言うならですよ、たぶん他の人と違うことってなったら食事に対して気をつけています。かなり大食いなんですけど。

角：えっ、そうなんですか？

福田主任：食堂で一緒になったらびっくりすると思います。ただ食べる内容はかなり気にしています。基本的に濃い味のものを作らなくて、食事のバランス、炭水化物、たんぱく質等気を使っているのと、お昼に食べたたんぱく質が夜と一緒にならないようにとか……。でもそれは別に美しくなるためではなくて、健康のために気をつけているって感じですね。

角：得意な料理はありますか？

福田主任：得意な料理、なんでしょうねえ…一時期こだわってたのは、ポテトサラダと豚肉のしょうが焼き、コロッケとかですね。

角：洋風が多いのかな？和食は？

福田主任：和食は、得意ではないですけど、ただ単にめんつゆを使って、ナスとオクラや白菜と薄揚げなどの煮物をするくらいかな……。得意料理って特にないですね。しょうが焼きは、しょうがを入れるタイミングを一時期こだわってました。すりながら入れたら良い風味がでてくるんです。

角：福田主任は万能、料理も上手いんですね。

福田主任：いえいえ、全然そんなことないですよ～。

家庭での過ごし方

角：休みの日はどのように過ごされていますか？

福田主任：コロナ禍で結構外出は控えているので家で楽しめることを娘と一緒にやってみる感じですね。お昼ごはんを公園で食べたり、家でおやつ作りとかを子供と一緒にしています。子供ができるような、例えばアップルパイなら、りんごとクリームをのせさせるなどして一緒に作ってます。

角：家庭ではどんなママですか？

福田主任：ママって感じではなく、お母さんですね。意外がられるかもしれないですけどあんまり怒らないですね。

角：今何歳ですか？しつけは？

福田主任：今3歳です。わりと甘やかしているほうだと思います。色々おもちゃも買ってあげたいと思いますし。でもたぶん教育ママ的なところもあって、買うおもちゃも、ワークブック、おけいこブック、数字を覚えるという類のもの、あいうえおを書いた積み木とか、そういうおもちゃは惜しみなく買ってますね。



Photo：エントランスホールにて
左下：クリスマスツリーの前で
角さんの決めポーズに付き合ってくれました。

右上：対談後に談笑中……
ほっとされた様子です。

～対談を終えて～

明るい笑い声でいつも場を和ませてくれる福田主任ですが、対談では優しい語り口の中に芯の強さと仕事に対する熱意が伝わりました。何より、ゲスト様の事を常に深く考えて行動されていて、皆に信頼され、頼られる存在であるゆえんだなとつくづく感じました。同僚として心強いです。そして、これからも僕のジョークを優しく受け止めて下さい(笑)

3階ケアスタッフ 角 和正



リハビリチームとして

角記者：沢山聞かせていただきましたが、最後に、リハビリチーム、皆さん和気あいあいとかつ、一生懸命お仕事されていますが、今後の展望をお聞かせいただけますか？

福田主任：入所中もそうなんですけど、退所後もしっかり在宅生活を継続できるようにサポートできるリハビリチームを作りたいなと思っています。ケアヴィラ宝塚は通所リハビリもやってますし、訪問リハビリを開設準備中なので、入所しているゲスト様には在宅復帰を目標にリハビリをして、退所したあとも通所リハビリ、訪問リハビリを利用してご自宅でもより安心して生活していただく、在宅生活をサポートできるチームを作りたいというのが一点です。もう一点は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、3職種が揃っているのもそれぞれの専門性を活かしたアプローチができればいいなと考えていますね。より良いリハビリやサービスが提供できるよう来年の目標としていきたいと考えています。

(取材日：令和3年12月24日)